

さいたま市文化財時報

かや
榎りぼーと

第74号

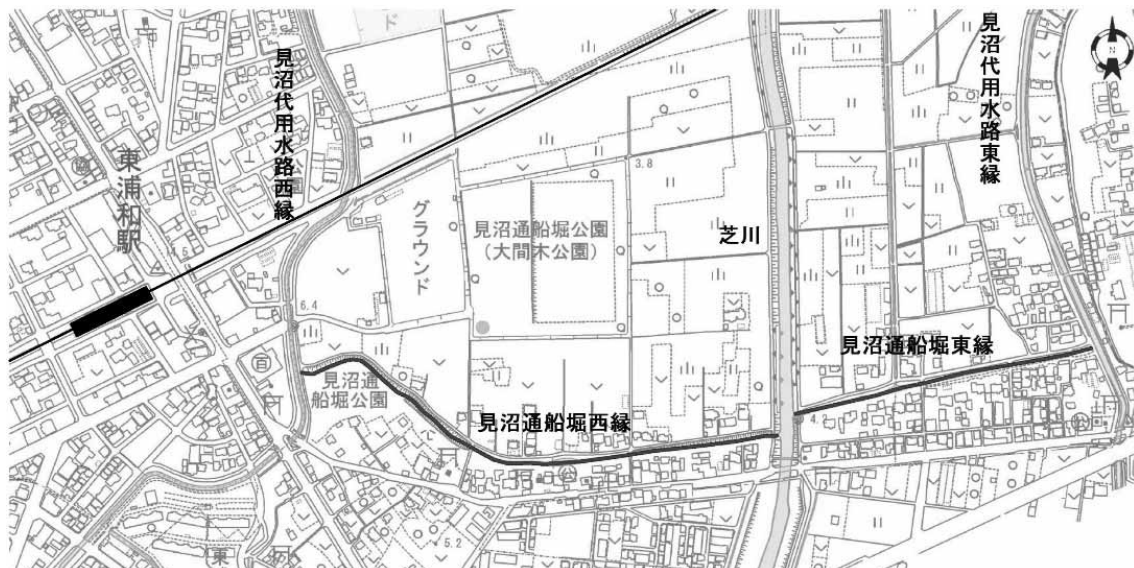
みぬまつうせんぼり
見沼通船堀こうもん
閘門開閉実演を再開しました

「見沼通船堀」は、見沼代用水路 ひがしべり 東縁及び にしべり 西縁と芝川を結ぶ総延長約1,040メートルの閘門式運河で、享保16年(1731)に開通し、昭和57年(1982)7月3日に国の史跡に指定されました。

閘門開閉実演は、見沼通船堀東縁の再整備工事のため、平成28年度から実施を見合わせていましたが、令和元年8月21日に5年ぶりに開催しました(平成27年度は雨天により中止)。

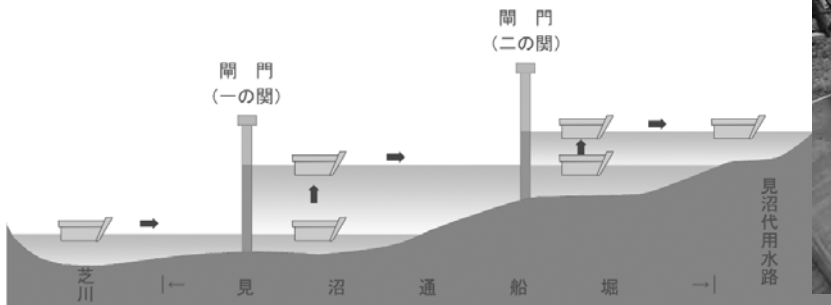
見沼通船堀とは

見沼通船堀は、江戸時代中期の見沼新田開発事業に伴い、見沼地域と江戸との物資輸送路として開削された運河です。江戸へ通じる芝川と見沼地域の東西に整備された見沼代用水路とを結びます。見沼通船堀は、江戸時代の土木技術や江戸との船による流通経済を考える上で貴重な史跡として、昭和57年に国の史跡に指定されました(平成14年追加指定あり)。



見沼通船堀の仕組み

東西の見沼代用水路に比べ、芝川は3メートル程低かったため、途中2か所ずつの閘(閘門)を設け、水位を調節することで船を通しました。このような運河を閘門式運河といえます。水位の調節には「^{かくおとし}角落」と呼ばれる板を使用します。10枚ほどの板を取り付けたり、はずしたりすることで水位を調節します。



▲水位の調節の様子

見沼通船堀再整備事業

見沼通船堀における閘門開閉実演は、平成6年から9年にかけて行った第一次整備事業以降、実施してまいりました。その後20年が経過する中で、閘門の腐朽や園路舗装の剥がれ等、老朽化が顕著となりました。

そのため、今後も史跡の価値を保ち、活用できる文化財として維持していけるよう、平成27年度から再整備事業を実施しています。



▲再整備工事後の東縁閘門

閘門開閉実演

平成27年度から進めてきた再整備事業により、見沼通船堀東縁の閘門復元、北側の園路整備等を行った結果、環境が整ったため、5年ぶりに閘門開閉実演を開催しました。当日は30℃を超える暑さの中、午前、午後2回の実演に、合計2,000人以上の方が見学に訪れ、一の閘と二の閘の間で、水位が上下する様子や船が浮かぶ様子を興味深く見入っていました。閘門開閉とともに、市指定無形民俗文化財「見沼通船舟歌」も保存会により披露され、船が行き来していた当時の雰囲気が偲ばれました。

また、見沼通船の差配役であった鈴木家ゆかりの「鈴木家住宅附属建物」も特別公開され、見沼通船堀の歴史を体感できる1日となりました。



▲芝川側から見た一の閘



▲船と見沼通船舟歌保存会による踊り

TOPICS

●記念物100年展を開催しました

記念物(史跡名勝天然記念物)保護の取組がはじまってから本年度100年を迎えたことを契機に、記念物100年展を開催しました。

令和元年7月にさいたま市立中央図書館、9月にさいたま市立博物館でパネル展示等を行い、記念物の周知と保護の重要性について紹介しました。本展では、市内にある4件の国指定記念物に関するパネルも展示し、多くの方々にさいたま市の歴史の一端を知っていただく場にもなりました。



▲中央図書館での展示の様子



▲市立博物館での展示の様子

●さいたま市立博物館で特別展「見沼～水と人の交流史～」が開催されます

さいたま市立博物館で、令和元年10月5日(土)から、特別展「見沼～水と人の交流史～」が開催されます。

さいたま市の中央部に位置する見沼田んぼが新田として開発された江戸時代を中心に、水と人との交流の歴史を紹介する本展では、国指定史跡「見沼通船堀」に関連する資料が展示されます。その他にも、普段公開されていない指定文化財等、見沼に関連する資料をまとめて見ることができる貴重な機会となりますので、お見逃し無きよう、ぜひ足をお運びください。

場所：さいたま市立博物館特別展示室(大宮区高鼻町2-1-2)

期間：令和元年10月5日(土)～11月17日(日)(休館日は要確認)

時間：9時～16時30分 入館料無料 ※期間中展示替えあり

詳細は市立博物館 Web ページをご覧ください。か、市立博物館(048-644-2322)にお問い合わせください。



▲特別展チラシ

○出展予定の指定文化財

種別	名称	種別	名称
市指定(古文書)	氷川女體神社旧神主家武笠文書	市指定(古文書)	細淵家文書
市指定(古文書)	岩井家所蔵文書	市指定(古文書)	会田家文書
市指定(古文書)	大島家文書	市指定(歴史資料)	さぎやまの記并歌
市指定(古文書)	武笠家文書	市指定(歴史資料)	坂東家文書
市指定(古文書)	島村家所蔵大和田村文書		

お知らせ

□国指定史跡 真福寺貝塚発掘調査現地見学会

真福寺貝塚では、史跡整備に向けた発掘調査を実施しており、その成果を現地で紹介します。

日時：令和元年10月19日(土) 1回目：10時～ 2回目：13時30分～

場所：真福寺貝塚発掘調査現場(岩槻区城南三丁目)

事前申し込み不要です。駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。詳しくはさいたま市のWebページをご覧ください。文化財保護課(048-829-1724)にお問い合わせください。

□最新出土品展 開催中

平成30年度に行った発掘調査の出土品を中心に展示し、最新の調査の成果を紹介しています。さいたま市立博物館での展示は、9月3日(火)～9月16日(月・祝)で終了しました。今後、展示資料の一部を下記の日程により巡回展示します。

会場	期間	時間
七里コミュニティセンター1階 出会い・ふれあいコーナー	10月2日(水)～10月30日(水)	9時～21時30分
コクーンシティ2 3階	11月9日(土)～11月22日(金)	10時～21時

□与野文化財資料室の公開を終了します

令和2年4月より、与野本町小学校内に「与野郷土資料館」がオープンするにあたり、与野文化財資料室の展示の公開は令和元年10月31日をもって終了いたします。長年に渡り、ご利用いただきありがとうございました。

なお、「与野郷土資料館」では、これまでの資料展示に加え、これまで未公開の資料が展示されるほか、様々な体験ができる内容になっておりますので、ぜひご利用ください。

さいたま市内指定文化財等公開カレンダー 令和元年10月から令和2年1月まで

市内各地で指定文化財が公開されます。見学は無料です。見学や公開に関する詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。文化財保護課(048-829-1723)までお問い合わせください。天候等により、中止や延期の場合があります。

名称	日時・場所・時間
田島の獅子舞 (市指定)	10月6日(日) ①15時～ 田島氷川社(桜区田島4-12-1) ②16時～ 四谷稲荷社(南区四谷3-7-34) 3頭の獅子が笛の音にあわせ、太鼓を打ちながら優美に舞います。
南部領辻の獅子舞 (市指定)	10月13日(日) 13時～ 鷲神社(緑区大字南部領辻2914) 別名「竜頭の舞」、三頭の獅子による勇壮な獅子舞です。
岩槻の古式土俵入り 〔釣上地区〕(国指定)	10月20日(日) 13時30分～ 釣上神明社(岩槻区大字釣上220) 古くから伝わる土俵入りの型を子どもたちが披露します。
一山神社冬至祭 (市指定)	12月22日(日) 14時～ 一山神社(中央区本町東4-10-14) 1年間の穢れを祓い、新年の無病息災を願う火渡りを行います。
日進餅つき踊り (市指定)	1月1日(祝) 0時～ 日進神社(北区日進町2-1194) 年明けの鐘とともに始まる餅つき踊りです。